

令和6年12月2日

社会福祉法人 みどり基金
みどりの森おひさま保育園

おひさまだより

園長 免出 智美

舞い散る枯れ葉や冷たい風に少しずつ冬の訪れを感じる頃となりました。早いもので、今年も残すところ1か月となりました。今月は、餅つき会、クリスマス会と楽しいことがいっぱいです。園では年末にかけて子ども達と大掃除を行い、部屋や箱椅子や机などを綺麗にしながら、ものを大事に扱う大切さや、ものに感謝する気持ちを改めて感じて、今年を締めくくりたいと思います。

12月行事予定

月	日	曜	行事予定
12	4	水	おひさま広場（未就園児）
	10	火	身体測定（乳児組）
	11	水	身体測定（幼児組）
	18	水	餅つき会
	25	水	クリスマス会
	26	木	しめ縄づくり（ひかり組）
	28	土	保育おさめ
1	6	月	保育はじめ

※変更の場合あり

お弁当の日：7日、21日
(年度末の関係でお弁当の日がいつもと違います。)

「お皿をつくってみたい!」～うさぎ組～

粘土でお皿を作り始めたことがきっかけとなり、本物の粘土でお皿づくりを楽しみました。鶴学園八千代校舎の先生をお招きして、お皿に作り方を学びます。3歳児には難しいのではと言われていましたが、子ども達の熱意やお皿づくりに取り組む姿に「3歳児でも、こんなにできるなんて! やってみたいという気持ちってすごいですね」と感動される一場面も…!



「玉ねぎができるといいな!」～うさぎ・そら組～

JAの方に来ていただき、土の作り方、玉ねぎの植え方などを教えていただきました。小さなマルチの穴に手を入れ土を掘り苗を植えていきます。「これが玉ねぎになるの?」と不思議そうな子ども達! 玉ねぎの生育を楽しみに春を待ちます。



♪生の音に触れる経験♪

先日、コール・ドルチェによるミニコンサートが行われました。今の子ども達は、スマートフォンなどの普及により、音楽コンテンツに触れる機会が増えています。生演奏と録音では、音の質や音を聴くメカニズムが全く異なります。録音の音楽体験に慣れている子ども達にとって、生の演奏の音楽体験は、耳だけでなく、空気に溢れた音を全身で感じる事ができた時間となりました。



12月1日、結婚式を挙げられました。
内村先生、末永くお幸せに♥



職員の紹介

*フリー：日浦伸介保育士
よろしくお願ひいたします



ドキュメンテーションから抜粋

子どもは、遊びからたくさんのことを学んでいます。「何を感じ」「気付き」「理解できる」ようになるのか、「試す」「工夫する」「表現する」など学びに向かう力がドキュメンテーションに毎日記録されています。子どもたちの豊かな感性やおもしろい発想、友だちへの思いやり、協同する力をドキュメンテーションからみつけてください。



どんぐり（0歳児） 「さわってみたい！」

姿勢を保ち、手を動かしながら自然物に触れることで感覚が刺激され、首や背中筋の筋力も発達していきます。触りたいものに視線を集中させて、それを手に入れようとする気持ちが身体の動きに表れ、こうした気持ちと動きを繰り返していくことで自分の世界を広げ、深めていく基盤にもなっていきます。

たけのこ（1歳児） 「しゅっぱつしま～す！」

土と芝生を境に、駐車場にしぶつからないように後ろを見ながら転がし、停めた達成感から笑顔になっていました。途中で倒れても自分で諦めずに起こして、再出発！体幹、バランス、踏ん張る力、押す力など遊びの中で様々な力が身につけていきます。



りす（2歳児） 「落ち葉の雨だ！」

みんなで集めた葉っぱを遊具の上から降らすと「うわ！雨だ！」と葉っぱを雨に見立てていました。友だちと一緒に葉っぱをかけ合ったり、一緒に雨を浴びたりしながら、秋ならではの自然物遊びを楽しんでいました。

うさぎ（3歳児） 「これなに？蜘蛛の巣？」

水菜のカップを外すと、ぎゅっと詰まった根っこにびっくり！触ったり、そっと引っ張ったり、においを嗅いでみたり…思い思いに観察や探求をしていました。ここから水や栄養を吸って大きくなることを知ると「水やりがんばる」と意気込んでいました。野菜の栽培を通して、植物の成長の過程やお世話をすること、命の大切さ、食への関心に繋げていきたいと思えます。



そら（4歳児） 「登ってみよう！」

江波皿山公園に行きました。松ぼっくりを探していると、山の上にたくさん落ちていることに気が付き、「登ってみよう！」と登れるところを探し、山登りに挑戦しています。途中の斜面で足が滑り、なかなか登れず困っていると、「先に行ってみるから、みんな待っててね」「手を置くから登っていいよ」と思いやりを持って声を掛けています。

ひかり（5歳児） 「竹を取りに行こう！」

門松で使う為や釣竿で使う為の竹を取りに行きました。どんな門松がいいのか、釣竿で使う為にはどんな長さがいいのかを自分で考えて竹を選びます。切る時は、横向きで切ることが初めてでしたが足腰や体幹、腕の力をしっかりと使って切りました。最後はみんなで協力して竹を運ぶ中で、友だちと一緒に自分たちの力でやりきる達成感を感じていましたよ

